

市制 20 周年記念



伝統野菜を 未来へ残そう



～伊勢の幻の野菜朝熊小菜～



四郷小学校

令和 6 年度 3年生の取組

残していきたい伝統野菜

四郷地区にある朝熊町では、伝統野菜の「朝熊小菜」が育てられています。種や苗は市販されていないため、前年の苗から種を採り、次年へ引き継いでいくことでしか育てることができない野菜です。

3年生は、そんな貴重な野菜の栽培を通じて、地域の伝統に興味を持ち、受け継いでいくことの大切さを知る活動をしています。



～朝熊小菜を栽培している人の話～

伊勢市に住んでいる人なら、スーパーマーケットなどで目にしたことがあるかもしれません。朝熊小菜は古くから栽培されてきたアブラナの一 종류です。朝熊山の麓で育てられ、厳しい寒さと霜が朝熊小菜を甘くするポイントです。他の地域で栽培しても同じ味にはならない「伊勢の幻の野菜」と呼ばれています。

子どもたちの声

家ではよく食べるけど、貴重な野菜だなんて知らなかった。

伝統を守るために、地域の人が活躍してくれているんだな。

来年の3年生にも元気な種を残してあげられるように育てたいな。



＜伝統を受け継いでいくために＞

朝熊小菜を栽培している人は年々減少しています。このすばらしい伝統野菜を後輩たちに残しておくために、種を少しずつ持ち帰って育てる活動をしています。地域の大人の方から伝統を受け継いだので、次は子どもから地域全体へ活動を発信していきます。